

1999年12月3日

## 東京外国為替市場委員会第29回会合議事録

開催日時	1999年11月24日13:00～15:20
場 所	日本銀行本店新館9階大会議室
議 長	森岡 俊行(東京三菱銀行)
副議長	大倉 孝 (バンク・ワン銀行)
副議長	花井 健 (日本興業銀行)
書 記	田中 克 (日本銀行)
参加委員数	19名(別紙)

### 1. 新委員の選任

森岡議長から、菊池委員の退任に伴う新委員の募集を行ったところ、高浦氏(三和銀行)から立候補の申し出があった旨報告がありました。これを受けて、本会合で討議した結果、高浦氏を新委員に選任することが了承されました。

### 2. 2000年(Y2K)対応

Y2K 対応に関し、リスク管理小委員会委員長の高松委員の提案に基づいて、年末年始の委員間の連絡網を整備することとなりました。また、引続き、内外の市場の Y2K 対応に関する動向に注意を払うとともに、12月20日にリスク管理小委員会(要決定事項がある可能性もあり、本会に切り替えられるよう委員全員に出席を要請)を開催し、Y2K 対応に関して最終的な点検を行うことが了承されました。

### 3. 教育広報小委員会からの報告

教育広報小委員会委員長の渡辺委員より、平成11年度のフォレックス・セミナー(12月6日開催予定)の参加者の募集状況について報告があり、定員に余裕があることから、引続き参加者を募るよう、各委員に対して要請がありました。また、参加者宛て案内状を送付する等、当日に向けて最終の準備を進めることとなりました。

### 4. 法律問題小委員会からの報告

法律問題小委員会委員長の小林オブザーバーから、NY 外為委員会の関連機関である Financial Market Lawyers Group (FMLG)が IFEMA、ICOM、FEOMA の Force Majeure 条項について改定案を作成し、当委員会の支持を求めてきたため、同小委員会で検討した結果、法的な

問題はなく、実務上の支障がないか本会合で検討するよう提案することになったことが報告されました。

これを受けて討議したところ、同改定案が Force Majeure Event 発生より契約清算までの Waiting Period を現行 20 日から 3 営業日に短縮している点について、一部委員から、「20 日では長いというのは分かるが、3 営業日では短過ぎる」、「特に一過性の Event では、3 営業日で取引を清算せずに継続した方が良い」、「例えば、当事者が地震の被害に遭った場合は、3 営業日で清算するのは困難ではないか」、「アジアは時差の関係で実質的に 3 営業日さえ確保できない可能性が高い」といった意見が表明されました。そこで、FMLG に対し、当委員会としてはもう少し検討したいこと、多くの委員からは、少なくともアジア地域でも最低 3 営業日を確保する観点から、Waiting Period を 4 営業日以上にしてほしいとの意見が出されたことを伝えることとなりました。

## 5. シンガポール外為市場委員会・NY 外為委員会合同会合について

加藤委員と小林オブザーバーから、11 月 4 日に開催されたシンガポール外為市場委員会・NY 外為委員会合同会合の様子が紹介され、両委員会は NDF をテーマに共同プロジェクトを行うことを決定し、当委員会も参加を求められたこと、来年以降、当委員会が、オブザーバーとしてではなく、正式に合同会合に参加することについては、両委員会ともに異論はなく、再来年に東京で開催してはどうかとの意見もあったこと、が報告されました。これらの案件に関しては、各委員の所属組織からの一層の支援が不可欠であることから、個人参加の私的勉強会という現在の当委員会の組織形態が適当かどうかも含め、運営小委員会において検討を進める必要があるとの認識で一致しました。

## 6. その他

中島委員より、ACI の Committee for Professionalism (CFP)<sup>1</sup> 議長のエディー・タン氏が、CFP が作成している Global Code of Conduct に対し、当委員会の支持を要望している旨の報告がありました。そこで、この件に関するワーキング・グループを近いうちに開いて論点を整理した上で、次回の本会合(1 月)で議題にすることとなりました。

また、小林オブザーバーからは、香港外為金融市場委員会のトニー・ラター議長(HKMA 副総裁)より、当委員会との連携を強化したい旨の申し入れがあったこと、ECB のフランチェスコ・パパディア調節総局長より、同行が主催するユーロ・エリアの外為市場参加者の会合として ECB Foreign Exchange Market Contact Group を発足させたので、当委員会とのコンタクトを開始したい旨の連絡があったことが報告され、今後、これらの委員会と交流を深めていくことで一致しました。

以上

---

<sup>1</sup> 各国のフォレックスクラブの上部団体である ACI (Association Cambiste Internationale) の専門委員会。

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(11月24日現在)

<委員>

議長	○森岡 俊行	(東京三菱銀行)
副議長	○花井 健	(日本興業銀行)
副議長	○大倉 孝	(バンク・ワン銀行)
書記	○田中 克	(日本銀行)
運営小委員長	○加藤 博光	(野村信託銀行)
教育・広報小委員長	○渡辺 秀典	(第一勸業銀行)
市場取引に関する小委員長	○酒匂 隆雄	(UBS 銀行)
リスク管理小委員長	○高松 力	(チェース・マンハッタン銀行)
CFD に関する小委員長	○三島 裕史	(さくら銀行)
	○野手 弘一	(住友銀行)
	○菅田 克彦	(富士銀行)
	○齋藤 廣志	(三菱信託銀行)
	○松田 哲	(オーストラリア・コモンウェルス銀行)
	○中島 尚彦	(スタンダード・チャータード銀行)
	○竹本 隆彦	(ドイツ・バンク)
	○石川 栄一	(イービーエス・ディーリング・リソース・ジャパン)
	○尾崎 信一郎	(上田ハーロー)
	○神田 紀昭	(ロイター・ジャパン)
	○高浦 雅之	(三和銀行)

<オブザーバー>

	○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
法律問題小委員長	○小林 一夫	(日本銀行)

(注)敬称略(順不同)。○は今回出席。